「北日本新聞八月二十八日一面の北陸新幹線開業日決定の記事」を読んで

まさひ野小学校　六年　鍋谷　真也

北陸新幹線が三月十四日に開業することが決まりました。ぼくたちの通うまさひ野小学校への通学路の途中に新幹線の線路があります。これまで、線路の高分橋ができ上がっていく様子をずっと見てきました。初めて新幹線が通った日にも、みんなで学校の窓から見ていて、とてもすごいなと思いました。この記事で、ぼくの誕生日に近い日に開業すると分かりました。毎日、たくさんの新幹線を見ることができるのではないかと、楽しみになりました。また、今までは三時間でも行けなかった東京に、約二時間八分で行ける予定になっていることを知り、びっくりしました。

ぼくの住んでいる朝日町に一番近い駅は黒部宇奈月温泉駅です。最速の「はくたか」L が黒部に停まらないのは残念です。でも、「はくたか」は十四往復します。せひ、「は

ふたかレに乗ってみたいです。

記事の中で、もう一つ気になったことがありました。それは、「サンダーバード」が富山県まで来なくなることです。とても残念です。関西に行くときには、乗りかえが必要になります。今までのように、直通で行けなくなるのは不便だなあと思います。また、県内区間は第三セクター「あいの風とやま鉄道」が運行することが決まっていますが、これまでに比べてどれくらい電車が走るのか、まだ分かっていません。ぼくたち高校生になると乗ることになる分もしれないので、あまり不便にならなければいいなと思います。

北陸新幹線3月14日開業

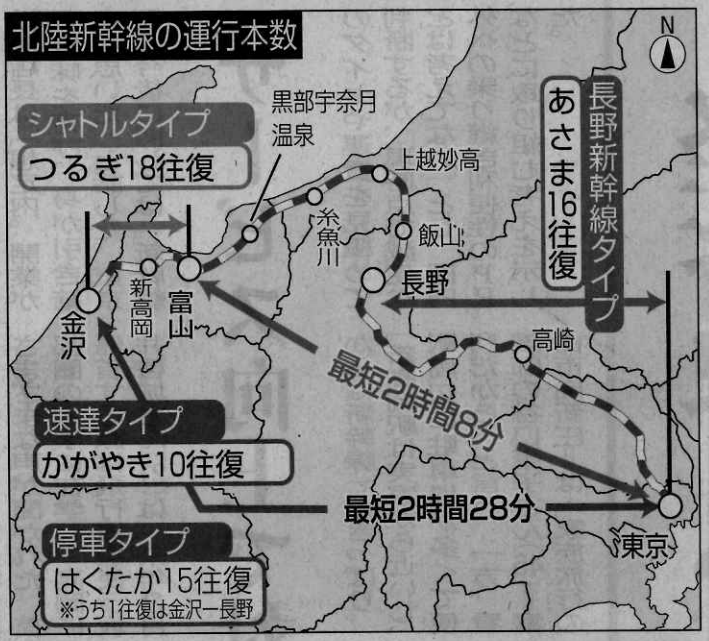
最速「かがやき」10往復

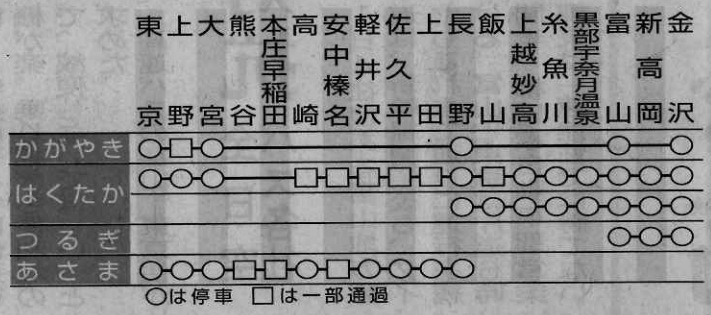
富山―東京 2時間8分 高岡・黒部停車せず

JR西日本、東日本は27日、北陸新幹線の開業日を来年3月14日（土曜日）と発表した。最速列車の「かがやき」が東京―富山・金沢を1日10往復し、東京―富山を最短2時間8分で結ぶ運行計画も示した。「かがやき」は速達性を重視し、新高岡、黒部宇奈月温泉駅には停車しない。各駅停車の「はくたか」は14往復し、東京―富山の直通は計24往復となる。開業日決定を受け、今後、県内でも県や市町村、民間による準備が加速し、開業機運が一段と高まりそうだ。

【関連記事2、3、5、32面】

北陸新幹線 開業まで 198日





JR西日本金沢支社では、「はくたか」は14往復以外に、長野―金沢で1往復を運行。早朝に長野、夜遅くに金沢を出発するタイプとする。富山県が要望した「つるぎ」の恩恵が少ない県東部の利用者に配慮した。東京―長野は現行の長野新幹線「あさま」が16往復走る。

JR西日本金沢支社では、「はくたか」は14往復以外に、長野―金沢で1往復を運行。早朝に長野、夜遅くに金沢を出発するタイプとする。富山県が要望した「つるぎ」の恩恵が少ない県東部の利用者に配慮した。東京―長野は現行の長野新幹線「あさま」が16往復走る。

真鍋精志社長とJR東の原口宰常務が記者会見し、円滑な開業と地元の期待に応えるため、開業日発表を当初予定の9月より早めたと説明した。

「かがやき」が新高岡、黒部宇奈月温泉駅に停車しないことについて、真鍋社長は『はくたか』『つるぎ』が全て止まるダイヤの工夫がほしい」と述べた。

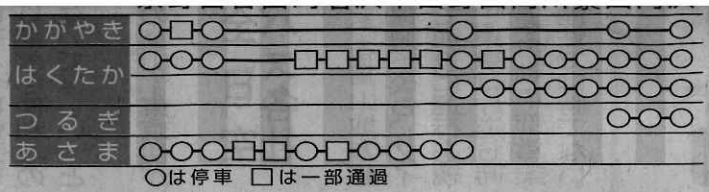
「『かがやき』『はくたか』のパターンは、分速達性を追求した。

北陸新幹線は10月に運転を始野を金沢まで延る。北陸新幹線れまで来年3

」10往復
部停車せず

停車しない。各駅停車の「はくたか」は14往復し、東京―富山の直通列車は計24往復となる。開業日決定を受け、今後、県内でも県や市町村、民間などによる準備が加速し、開業機運が一段と高まりそうだ。

【関連記事2、3、5、32、34、35面】



○は停車　□は一部通過

長とJR東の原口まるダイヤの工夫を理解してほしい」と述べ、原口常務は「『かがやき』の本数と停車パターンは、分かりやすさと速達性を追求した」と語った。

者会見し、円滑な期待に応えるた発表を当初予定のめたと説明した。

駅に停車しないこ、真鍋社長は『はつるぎ』が全て止が新高岡、黒部

県内を試験走行している北陸新幹線のW7系車両
＝5日、高岡市下黒田

北陸新幹線は、1997年10月に運転を始めた東京―長野を金沢まで延伸して開業する。北陸新幹線の開業日はこれまで来年3月とされ、富山―東京の所要時間は北陸新幹線建設促進同盟会が2時間7分と試算していた。

北陸新幹線の新型車両として、JR西、東がW7系、E7系を共同開発した。最高時速は260キロ。E7系は長野新幹線に今年3月から先行導入され、W7系は県内でも8月5日から試験走行を始めている。詳細なダイヤは12月ごろ発表され、年明けには試乗会も予定されている。

富山の未来切り開く

石井知事　構想から半世紀、多くの先人の努力にあらためて感謝したい。県にとって開業は50年、100年に一度のビッグチャンス。最大限に生かし、観光振興や産業・地域活性化につなげるため、準備を加速させる。新しい富山の未来を切り開くよう、官民心を合わせて頑張りたい。

市民の期待高まる

森富山市長　開業に向けて市民の期待もさらに高揚していくと思う。富山駅への路面電車延伸や南北自由通路整備を緊張感を持って進めたい。

利便性高いダイヤを

高橋高岡市長　早期の開業日発表に感謝するが「かがやき」の新高岡駅通過は残念で、利便性と速達性を重視したダイヤになるよう今後も働き掛けたい。

開業準備スパート

堀内黒部市長　200日を切ったことが明確になり、気持ちが引き締まる。残された開業準備にスパートをかけ、いいスタートを切りたい。

県内区間の特急廃止
JR西発表

JR西日本は27日、北陸新幹線開業に伴い、特急「はくたか」「サンダーバード」「しらさぎ」など5列車について、県内区間での運転を取りやめると発表した。代替として新たに新潟―上越妙高間で特急「しらゆき」を5往復運行し、金沢以西の「サンダーバード」「しらさぎ」を継続する。

速達性のある列車が新幹線に移行することと、北陸線の県内区間は第三セクター「あいの風とやま鉄道」が運行することが新幹線建設に同意する条件となっているため。

廃止するのは、東京との行き来のため越後湯沢―金沢間などを走行している「はくたか」のほか、新潟―金沢間の「北越」、大阪と北陸を結ぶ「サンダーバード」のうち金沢―富山・魚津間など、名古屋と北陸間を走る「しらさぎ」の金沢―富山間、早朝の通勤向け列車「おはようエクスプレス」の金沢―富山・泊間。

JRは新潟―上越妙高間で特急しらゆきを走らせるほか、新潟と糸魚川、新井の間で快速を運行し、福井―金沢間では特急列車を3往復させる。

県はサンダーバードなどの県内乗り入れ継続をJR西に要望し、交渉を重ねてきた。JRが20日、北陸新幹線に導入するシャトル新幹線「つるぎ」の全列車を新高岡に停車し、早朝に長野―金沢間の新幹線「はくたか」を導入して県東部から金沢への足を確保する方針を示し、石井知事が理解を示していた。

「かがやき」停車要望

知事　JR西に

JR側が27日、「かがやき」が新高岡駅、黒部宇奈月温泉駅とも停車しない方針を明らかにしたことに対し、石井知事は同日、JR西日本の真鍋社長に電話で「利用客の多い時間帯を中心に、相当程度の停車をお願いしたい」と強く要望した。真鍋社長は「JR東と相談して決めたことで、変更は困難」と回答したという。県は高岡市など関係自治体や地元国会議員、県議会、経済界と連携し、引き続き停車を働き掛ける。